

クリのにおにぎりを頬張りながら笑顔を見せる児童ら＝12日、小
緑南児童クラブ



トゲトゲ、くすぐったい

読んで
広がる
NIE

秋の味覚クリを町のNPO法人が贈った。堪能してほしい。同クラブはクリご飯を作って食べたり、模写したりしながら取れたてのイガグ 届いたクリを堪能した。

りが小緑南児童クラブの子ど 幸地彩さん 宇栄原小4年
もたちへ届けられ、12日にお披 Ⅱはイガグりを初めて見たと言
露目された。手のひらの大きさをう。「いがかが痛そうと思っ
ほどもある大きなクリの数々 たが、実際に触るとチクチクし

鹿兒島からイガグリ 小緑南児童ク

に、初めて見た子どもたちから、くすぐったかった。味は芋
は「トゲトゲがくすぐったい」みたいで、少し甘さもあり、お
と歓声が上がった。 いしかった。見た目で判断でき

イガグりは鹿兒島県さつま ないね」と笑顔で語った。

町の山中で採れた。同クラブ 同児童クラブ指導員の仲宗根
の先生の「沖縄の子どもはむか 尚美さん(53)は「実際に見て触
れていないクリをあまり見たこ ることで、他の地域のことを知
とがない」との相談に答え、同 るきっかけになった」と話した。